

## 麻布大学研究データ管理・公開ポリシー

麻布大学（以下「本学」という。）の建学の精神である「学理の討究と誠実なる実践」に基づき、研究活動によって生み出された研究データを適切に管理及び公開することにより、学術研究のさらなる発展に寄与すること、また社会・地域への還元を促進し、研究データの価値を高めることを目的として、研究データ管理・公開ポリシー（以下「本ポリシー」という。）を定める。

### （定義）

- 1 本ポリシーが対象とする研究データとは、研究者が本学における研究活動において収集又は生成したデータ（デジタル・非デジタルを問わない）をいう。

### （研究データの管理）

- 2 原則として、研究データを収集又は生成した研究者が、その研究データの管理を行う権利と責務を有する。研究者は、研究データの価値を守るため、研究分野の特性等を踏まえ、法令及び倫理的要件に基づき研究データを適切に管理する。

### （研究データの公開）

- 3 研究者は、研究データの価値を向上させるため、研究データを可能な限り社会に公開し、その利活用に供する。

### （大学の役割）

- 4 本学は、研究データの管理及び公開を支援する環境の整備を行う。

### （その他）

- 5 本ポリシーは、社会や学術状況の変化に応じて、適宜見直しを行う。

### （改廃）

- 6 本ポリシーの改廃は、教育研究会議の意見を聴いて学長が行う。

### 附則

本ポリシーは、令和6年1月31日（学長決裁日）に制定し、令和6年4月1日から施行する。